

# 環境保全活動報告書

令和5年度(2023年度)







# KSK 湖国精工株式会社

http://www.kokokuseiko.co.jp

#### 環境保全の歩みと取組み

#### (環境方針)

- 1. 地球環境にやさしい事業活動をする
- 2. 全従業員が力を合わせて、環境に配慮し、人と地球の共生をはかる
- 3. 環境関連法規制を遵守する
- 4. 環境マネージメントシステムの継続的改善に努める
- 5. 環境汚染の未然防止と環境負荷の低減に努める

# 環境保全の歩みと取組み

平成13年2月26日、大津市と[環境保全協定書]を締結する。

#### (目的)

次の世代により良い環境を引き継いでいくために、大津市・市民・事業者がそれぞれの役割と責任を認識し、快適で環境への負荷の少ない持続可能な街づくりに、自主的・主体的に行動するとともに協働して取組むことが求められている。

#### (活動の推進)

事業者は実施可能な範囲で自主的・主体的に環境保全に係る目標等を設けて環境への 負荷の低減、資源の循環及びエネルギーの効率化、その他環境保全に係る活動を実施する ものとする。

#### (環境管理体制の整備・充実)

環境保全活動を継続して推進するため、必要な組織を整備し、環境保全に関する方針 及び目標を定め、その実施状況を点検しなければならない。

また、環境管理体制はIS014001に沿ったマネージメントシステムの構築また、市の定める手引きに従う整備により行うものとする。

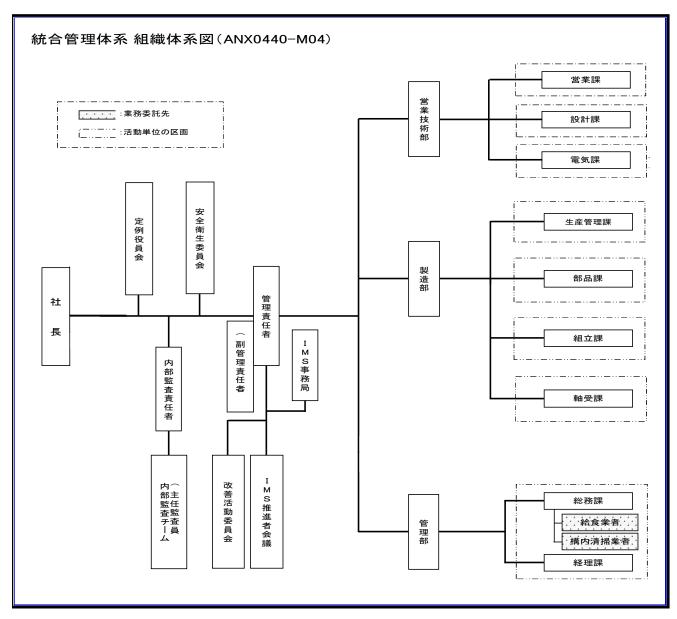
#### (報告)

環境保全活動の実施状況について取りまとめ、原則として毎年1回、市に報告する。

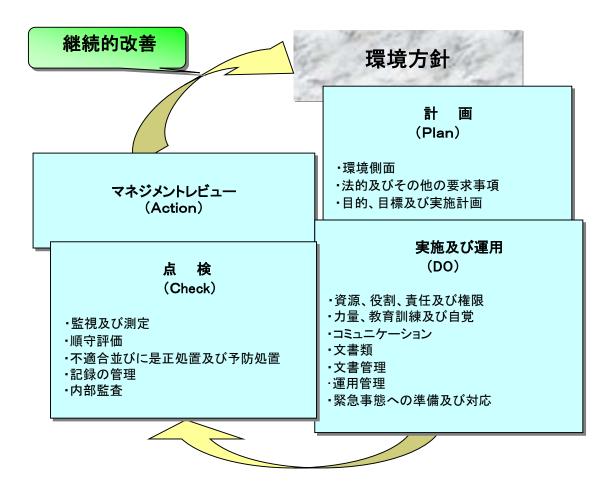
# 主な環境取組テーマ

- ① 地球温暖化の防止
- ② 廃棄物の削減
- ③ 琵琶湖の汚染防止
- ④ 環境に関する地域社会への貢献
- ⑤ その他の取組み

# 環境管理組織体系図



# ~P•D•C•Aサイクルによる、継続的改善の管理システム~



- P-D-C-Aのサイクルで構成されているシステムで、このシステムを運用することにより継続的改善を目指す。
- 汚染の予防と環境関連法規制の遵守が要求されており、これに対するシステム構築と 運用を行なう。
- 環境方針及び目的・目標を定め、体系的な改善を行うために環境影響の原因である 環境側面を抽出し、これの管理・改善を行う。環境影響を出してから対策するのではなく、 発生源の管理・改善を目指している。
- 環境影響の著しいものを取上げ、重点的に管理・改善を行う。
- あらゆる組織に適用できるシステムで、システム導入は組織の自主的な活動により 行なわれ、トップの方針に基づき、全員参加で環境負荷を低減するシステムである。

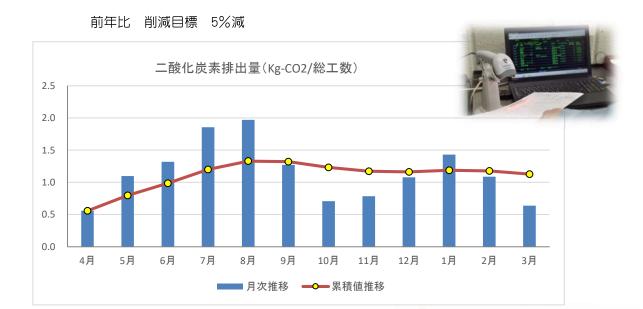
# 環境目的•目標 実施計画

環境方針	73期 (2023/4-2024/3)			
	取組み活動		目標	
地球環境にやさしい事業活動をする	交通安全活動 ・空ぶかし、急発進防止、法定速度以下の運転 ・車両運転チェック(車両運転チェック表) ・車両の省エネ運転 * 通勤でも同じ(バイク、自転車など含む)		教育実施	
全従業員が力を合わせて、環境に配慮し、 人と地球の共生をはかる	廃棄物削減活動 <u></u>	産廃	90%	
	ゼロエミ化推進(教育実施)	一般	51.3%	
	・省電力設備の調査、投資対効果検討(計画段階の都度) (加工機、パソコン、サーバーなど)		都度(効果見 える化)	
	地域社会への貢献 盛越川の清掃の清掃(計画に基づき実施)		2回	
環境関連法規制を遵 守する	環境関連法規制情報を入手し、法令規制等要求事項管 理表を都度確実に更新する。		関連部署、職制に共有連携	
環境マネジメントシステムの継続的改善に努める	外部審査 指摘、アドバイス対応		都度	
	内部監査(2回) 指摘、アドバイス対応		都度	
	マネジメントレビュー指示事項対応		都度	
環境汚染の未然防止と環境負荷の低減に努める	輸送中の油防止対策ルール必要により見直し 交通事故災害時の緊急対応訓練		訓練又は教 育実施	
	構内環境影響災害防止活動 ・安全衛生環境パトロール点検(毎月) →各部門 朝礼等で従業員に展開する		改善実施 3件以上	
	安全データシート(SDS)の入手。掲示、取り扱い指導 化学物質リスクアセスメント実施対応(追加) 有害性の低い潤滑油・切削油の調査 切り換え推進(S DS)		教育実施 2回以上	
	緊急事態対応手順書(油の漏洩時の対応)訓練の実施 とレビュー必要により見直し		訓練又は教 育実施	
	オイルトラップの維持管理		点検実施	
	危険物倉庫の管理		点検実施	



- 図 新型コロナ感染症の5類移行とともに復活の兆しではなく、既に様変わりした 新しい生活様式が定着し、元に戻るのではなく、今までを見直し或いは新たな 価値を創造することが重要な、ある意味キックオフ年となった。
- ☑ コロナ3年間で停止した行事や見直した行動、受注の微回復とともに 未来に向けた事業継続を念頭に、体制の再点検と決まり事の見直しなどを 始めた年であったが、法令改正の連発と様々なコスト上昇の局面でもあり 収益的にもリスクを鑑みて、大きな投資は手控えることとなった。

#### 地球環境にやさしい事業活動/全従業員が力を合わせて環境に配慮し人と地球の共生をはかる



#### [二酸化炭素排出量の推移]

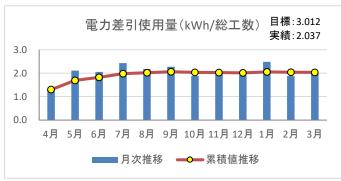
受注を積み上げるために、短納期対応が一層増大も働き方改革の残業規制と相まって休出削減が奏功、油脂類 (汚泥含む) も12.55⇒10.95tと1.6 t 削減

目標 2.021 kg-C02/H 実績 1.189 kg-C02/H

#### 1)電力の使用量 (発電相殺含まず)

令和5年度 490,687 kw 前年比受注量增加

令和4年度 467,646 kwh 令和3年度 512,293 kwh



#### (発電相殺込)

#### \*発電量(4月~3月)

#### 50601 kwh

- \* コロナ対策継続で集合行事中止継続
- \* 導入9年の本年度秋時点で投資額回収



#### 2) 都市ガスの使用量

既にガス空調を導入しており、起動分散化や清掃、日常できることの継続。天候不順も多く空調稼働

44,550 m <sup>3</sup>	令和5年
40464 m³	令和4年
42,097 m <sup>3</sup>	令和3年
35,738 m³	令和2年
37,531 m³	令和元年
46,542 m <sup>3</sup>	平成30年

#### 3)コピー用紙使用量

令和5年度	0.691 kg/売上百万円
令和4年度	0.818 kg/売上百万円
令和3年度	0.970 kg/売上百万円
令和2年度	1.062 kg/売上百万円
小口の設計案件	(改造や修理)は引き合い増
図面要請は多い	が、電子化進捗と受注微回復

#### 廃棄物のゼロエミ化推進

排出そのものを減じるために在庫・調達管理の徹底・不良削減等に取り組んでいる。

今期は、社内厨房再開に併せ給食業者更新で、厨房廃棄物増。受注が微増程度の繰り返しのため、油脂類の 大きな増量はなかったため、廃油としての廃棄割合は減少。前年の95.2%からわずかながらも持ち上げる ことができた。

産廃 100.00%

事業系一般 56.00% 総ゼロエミ率 96.0%

#### 5S活動の標準化

5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)について、2021年度に手順マニュアル化を行い、以来 「全国安全週間」に定例実施を開始している。

2023年度は、新規に42件の改善指摘箇所を得た。概ね1ヶ月以内にすべてを改善を進めている。 こうした定期的な活動を通して、維持することと同時に教育となる。

#### 地域活動

隣接する盛越川の清掃を、6/9、11/3に実施。(一部コロナ対策で更に分割実施) 2022年度から「ふるさと盛越川を愛する会」会長となり、できるだけ紙を使わない運営事務を試みている。



#### 環境関連法規制を遵守する/環境マネージメントシステムの継続的改善に努める

- ☑ 「法規制等要求事項管理表」を作成し、適用される法規制やその変化点管理を継続 特に環境以外にも多くの法令改正が伴い、監視作業と今後に引き継いでいく資料とするために 定期的に評価している。(定例4月評価/法令加筆修正は随時)
- ☑ PRTR法対象の集計及び届出 質量1t未満で届出対象外
- ☑ 産業廃棄物管理票交付状況報告書 前年比 廃油類割合が8.5%減少(加工用研削水) 報告書は 2024年5月提出済
- 図 事業系廃棄物の減量・資源化及び適正処理に関する計画書 大きな変化はないが、厨房再開で厨房生ごみが少量増加 報告書は 2024年5月提出済

## 提案活動

各個人ごとに毎月提出するもので、それぞれができる改善をとおして効率UPやモチベーションUPなどにも通じ継続的に続けている。 計画 112.0 件/月

実績 149.0 件/月 133%



## 環境負荷の未然防止と環境負荷の低減に努める

#### 緊急事態訓練等

一級河川「盛越川」へ隣接しているため、水質の定期監視を自主的に継続している。年に1度測定を実施し、大津市基準24項目基準で異常なし。これら以外の異常もなし。

又、一級河川に隣接し、琵琶湖へ直結していることからも特に新入者(新入社員や中途採用者等)を 重点に油の保管場所や零したときの想定をして訓練をしている。

避難消火訓練の再開をし、まだまだ課題は山積だが、避難⇒復帰⇒復旧までの手順訓練ができた。









新入者油漏洩対応訓練

#### 6) 環境負荷低減

• 化学物質管理が前年度に続き一層強化された法改正の中で、RAの実施とSDSの最新化を取組み。 代替品への転換や種類の集約など引き続き取り組み中

半年ごとの作業環境測定としても各種、管理区分1を継続中



# -- 当年度の主な外部状況 --

\* ISO認証状況 \*

サーベイランス審査を受け、継続認証

- \* 2023年10月 晴嵐小学校工場見学
  - 受入再開
- \* 2023年11月 客先防災監査 受審
  - ・大きな指摘は無し
  - ・延焼の原因となりうる木製踏み台をアルミ製踏み台に切替進捗
  - ・まだまだ小改善できる箇所があることが判った。
- -- 2024年度の主な計画 --
  - \* 令和6年6月

2015年度版 更新審査 受審

\* 内部監査員の更なる養成

若年層の2015版切替推進、主任監査員を相互に入替えた体験学習

- \* 化学物質等 管理物件の見直し推進 化学物質管理の取組継続と化学物質管理責任者等の選任
- \* 業務フロー見直しによるムダ削減
- \* コロナでの中止行事や会合の順次再開(運用見直し)
- \* 組織改組を進め、業務の整流化を取組み、古い慣習によるロスを見直し推進

